

さど・ひろき 1946年11月、旭川市生まれ。69年に北星学園大学文学部社会福祉学科（札幌市）を卒業。企業経営を学ぶため、道北の福祉施設の内定を辞退して横浜ゴムに入社した。75年に定年退職した父親とともにハマ用品販売を設立、カー用品のほか業務用無線機などを全国に売り歩く。88年同社社長に就任。97年に北海道バイオインダストリーを設立した。

■家族 妻と娘1人。かつて全日空で地上職を務めていた娘は、AIRDOの客室乗務員の採用試験に落ちたことがある。それだけに「AIRDOは幹部の内紛などはあったものの、コネ入社がない、クリーンな航空会社だった」と回顧する。

■スポーツ 社会人になるまで未経験だったというボウリングは、人生最初のゲームで201点をたたき出した。脳梗塞を患った後も180点以上を維持し、社内の大会での優勝回数は最も多い。スキーは市内スキー場でパトロールを務めていた腕前。

■好きな食べ物 1日何回食べても飽きないという納豆好き。自社でも現在、納豆に含まれるオロット酸の効能について研究中。将来の商品化も視野に入れており、「ついに一番好きなもので事業ができる」と喜びを隠そうとしない。



北海道バイオインダストリー社長 佐渡 宏樹さん

## 航空会社応援団に

# 病越え「健康の街を」

北海道バイオインダストリー（札幌市）の佐渡宏樹社長（67）は道産農産物を使った機能性食品の研究開発に取り組み。一方で地元航空会社AIRDOの設立では出資者集めに全国を駆け回る応援団長をつとめた。農産加工と航空会社という意外なものをつなぐ原点には、健康に暮らせる、にぎわう街を北海道につくりたいという夢がある。

1992年1月、20代に興じたカー用品販売会社「ハマ」は45歳を迎えて絶好調だった。ところが東京出張から札幌市内の事務所に戻ると突如、立ってられない目まいに襲われた。救急車で病院に搬送された。脳梗塞（こうそく）だった。

2週間の入院で済んだが、後遺症に悩まされた。まっすぐ運転しているつもりなのに、縁石にぶつかる。リハビリで自宅の裏山を歩きながら、涙を必死にこらえた。「健康を失って、自分の人生はおしまいだと思った」

### 移住したい街へ

以来、心に小さな火をともした。豊かな自然にあふれる北海道で、多くの人が農業を営みながら健康な生活を送れる場所をつくりたい。街自体が観光資源となり、頻繁に

東京などから人が行き来する。ついには移住したくなるような街だ。

北海道中小企業家同友会の異業種交流グループ「一水会」には同じ夢を持つ仲間がいた。養鶏業を営む浜田輝男氏と製菓会社社長の西村信氏だ。

夢を実らせる道筋を語り合った。壁があるのを感じた。「東京―札幌が往復で5万円もするんじゃない。北海道の活性化なんて無理だ」。

ところがある日、浜田氏が思わぬ話を聞きつけてきた。「ロンドン―パリ間では片道1万円の航空便が飛んでいるらしい」。1997年に羽田

空港の新滑走路の利用が始まり、発着枠が増えることが決まっていた。自分たちの手で航空会社をつくらう。98年に北海道国際航空（現在のAIR

これを生かさない手はない。西村教授の説明を聞き、脳梗塞の怖さを身をもって味わった人間として「これで事業を起こそう」と思い立つ。

97年9月には北海道バイオインダストリーを起業した。西村教授の研究を進展させ、2005年にタマネギの抗血栓成分を増やし抽出する方法で特許を取得する。できたペーストはうまみも多い。販路探しに苦労を重ねながら商品開発の工夫を重ね、12年に「北海道玉ねぎドレッシング」として発売した。今年月産1万本を超える。

3年前、航空と農産加工の2つの事業の基となった夢を形にする最終段階に入った。果樹やハーブの栽培を中心にした都市型農業によるまちづくりを進めるNPO法人「CARE DO（ケアドウ）フォーラム」を設立したのだ。

DO）の第1便は飛び立った。浜田氏と西村氏は設立発起人に名を連ね、「一水会の会長だった私は人脈を頼りに、出資者を探しまわった」。

### 都市型農業へ道

夢の場所の実現のもう一つの柱だった農業でも、大きな出会いがあった。一水会のアドバイザーを務め、タマネギを研究する北海道東海大学（現東海大学）の西村弘行教授（当時）だ。タマネギ生産ではシェア5割を超える北海道が全国首位。血栓をできにくくする有効成分を持つ。

寒冷地を好み付加価値の高いベリー系の果実アロニアは抗酸化成分として注目の高いアントシアニンを多く含む。北海道バイオインダストリーが果実を買って加工販売する。

病院や福祉施設がそろい、札幌市中心部へ30分以内。農業と都市生活を両立でき、高齢者のケアにも好条件を持つ街は「全国でも札幌以外にはまずないのではないか」。AIRDOの「A」、バイオの「B」、ケアのまちづくりの「C」。夢のABCがようやく完成する。（小山隆史）